

学校教育目標 「人間力の育成」

研究主題 「主体的に学ぶ力を身に付け、仲間を大切にし、認め合い、自己実現をめざす生徒の育成」

《学力》

【具体的な手立て】

《主体的な学び》

課題設定の工夫(疑問・必然性・ワクワク)

《対話的な学び》

目的に応じたペア・グループ学習

《深い学び》

自分の考えが更新される

《個別最適な学び》

一人ひとりが安心して学びに向かえる手立て

《発信力》

【具体的な手立て】

場の設定

○行事(体育祭、文化発表会等)

○授業(ペア・グループ、振り返り等、特活・総合的な学習での発表)

※書くことでの発信も含む

○生徒会活動による生徒主体の取組み

【手法】

検証

- 全国学力・学習状況テスト
- 高知県学力定着状況調査
- 単元テスト・定期テスト
- 生徒の変容をみとれるもの(振り返りシート・ノート・アンケート等)

○探求的な学びある授業

○ICTを活用した授業

○少人数による話し合いのある授業

○縦割り班を活用した取組

検証

- ふりかえりの変容
- i-check
- 学校評価アンケート
- 行事後のアンケート

チーム A (1年団)

チーム B (2年団)

チーム C (3年団)

保幼小中連携三部会

〔夢・志を育む部〕

- ・互いの個性を尊重し、共に生きる心を培う人権教育の研究
- ・総合的な学習を通しての地域連携
- ・行事を通じての振り返り、ボイスシャワー、ポートフォリオの研究
- ・コメントボードの作成
- ・自分の進路を自主的・主体的に考える能力や態度を育成する研究(キャリアパスポートの活用)

視点：進路の実現

〔学ぶ意欲を育む部〕

- ・「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくり
- ・生徒指導の三機能を意識した授業づくり、少人数指導、T・T
- ・チーム会での研究授業
- ・ループリックの検討と見直し
- ・学習委員会との連携
- ・帰り学習(S・T・10)
- ・聴く指導・各教科での人権課題

視点：学び合いのある授業

〔豊かな心を育む部〕

- ・行事、特活、道徳、生徒会活動等での人権課題への理解を深め、共感的な人間関係づくりの研究
- ・いじめの未然防止、初期対応についての研究
- ・Q-Uの実施と分析
- ・異学年交流等、学校生活を築き上げる集団づくりの研究
- ・基本的生活習慣の定着

視点：居心地のよい関係性

【具体的な取組及び評価指標（検証方法）】

1. 研究推進委員会・チーム会の充実

各チーム会において、下記の4つの視点で授業改善のPDCAサイクルを回し、研究推進委員会でチェック

<学力>

- 知**
- | | |
|-----------|----------------------|
| ① 主体的な学び | 課題設定の工夫（疑問・必然性・ワクワク） |
| ② 対話的な学び | 目的に応じたペア・グループ学習 |
| ③ 深い学び | 自分の考えが更新される |
| ④ 個別最適な学び | 一人ひとりが安心して学びに向かえる手立て |

<発信力>

特に授業や特活では、全員に活躍の場があり、全員が話す場の設定

2. その他学力向上に向けて

- ・授業改善プラン（国者数理英の5教科）をもとにしたPDCAサイクルの確立
- ・各学力調査や定期テストの分析を授業改善に活かし、個に応じた指導の研究を促進する。
- ・分析をもとに学年で学力の向上に向けた取組の実施（ST10、長期休暇中の加力学習パワーアップ）
- ・ICT（ミライシード等）を活用した授業改善の推進
- ・放課後学習の実施。

3. 評価指標（検証方法）

- ① 授業評価指標（ループリック）
- 「考える力」「聴く力」「伝え合う力」の項目でステップ3の割合を全学年50%以上。
- 「考える力」ステップ3の項目
- 物事を整理しながら順序立てて、考えることができる。
 - 今まで学習したことを活かしながら、いろんな角度から考えることができる。
- 「聴く力」ステップ3の項目
- 自分の考えと比べながら聴ける。
 - 自分の考えとの共通点や違いを意識して理解しながら聴ける。
- 「伝え合う力」ステップ3の項目
- わからないことは納得いくまで進んで質問できる。
 - 積極的に自分の考えが言える。
- ② 各学力調査において、全教科全国平均達成
- ③ 定期テストで、思考力・判断力・表現力を問う記述問題正答率45%以上。
- ④ 学校評価アンケート、「分かりやすい授業」「意欲的に取り組む」で強肯定45%以上。

<その他、研究以外で生徒の学校生活に関わる評価指標>

- 徳**
- ⑤ 道徳調査「自分にはよいところがある」強肯定45%以上
「自分の生き方についてよく考える」強肯定70%以上
- 体**
- ⑥ i-check「自己認識・学級環境 肯定群90%以上」
- ⑦ 新体力テスト全国平均以上
- ⑧ 朝食摂取率 100%
- ⑨ 運動が好きと答える強肯定 60%以上。
- ⑩ メディア使用時間（2時間以上） 25%未満

4. 中1ギャップ解消に向けた教科間連携

各教科、領域で目的・視点を持って、小学校の授業を参観し躰きの改善に努める。成果物の交流を行う。